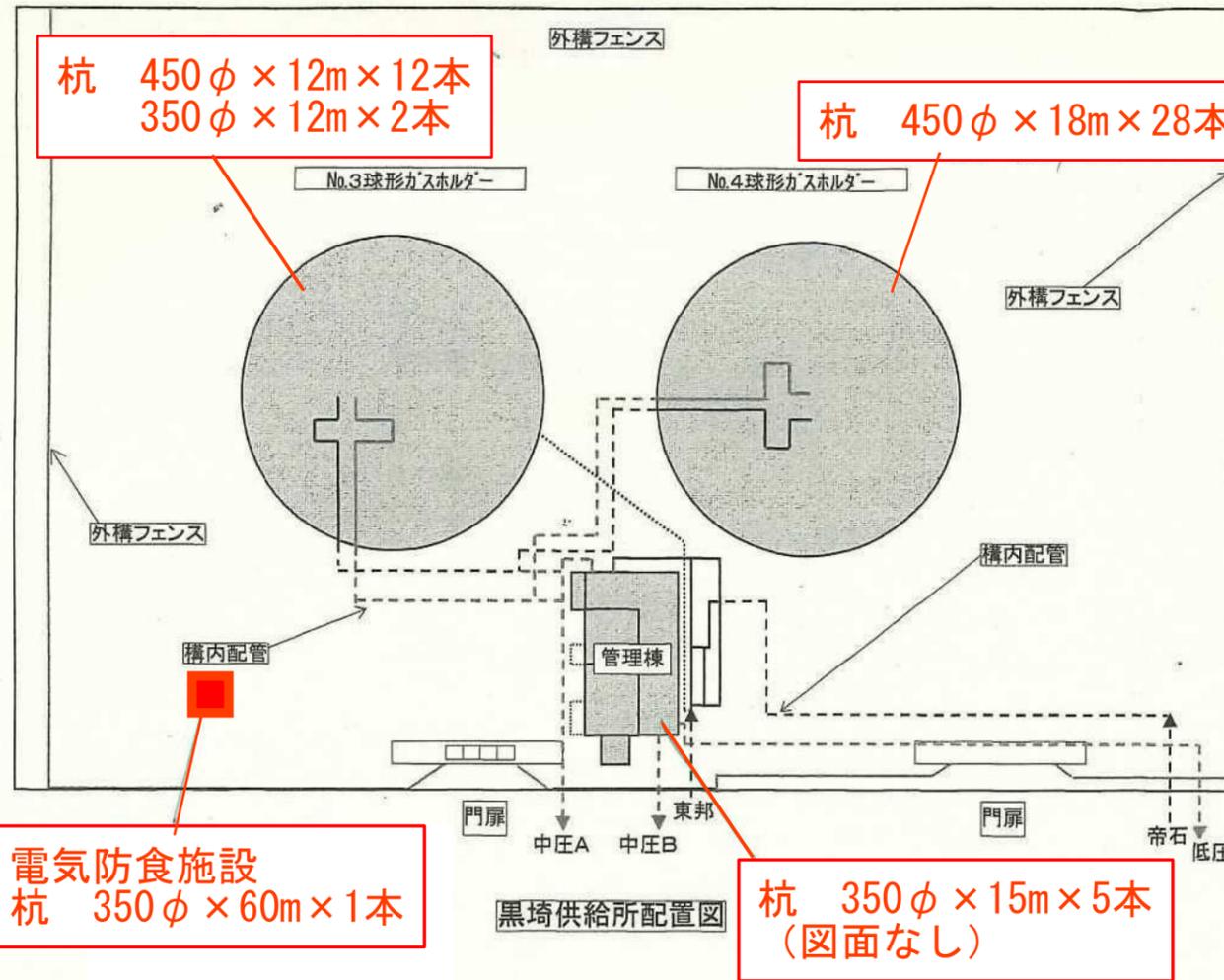


黒崎供給所 解体撤去工事仕様

平成18年3月



2) 供給設備について

- ① 管理棟内の全ての配管設備、機械設備、電気計装設備を撤去処分する。
- ② 屋外の地上配管については全て撤去する。
- ③ 構内埋設配管（管理棟～ホルダー配管、中圧管2系列・低圧管1系列・水道給水管）を撤去する。
- ④ 構内標識・看板を撤去する。
- ⑤ 解体撤去部分は転用土および購入土により解体前の現状地盤面まで埋め戻し整地を行う。

3) ホルダーについて

- ① No.3およびNo.4 ガスホルダー本体（支柱、階段、内部旋回梯子含む）、付帯設備およびホルダー出入管を解体撤去する。鉄屑についてはスクラップ処理とする。
- ② ホルダー基礎コンクリート（フーチング部、地中梁部）、階段基礎コンクリート及びホルダー下部コンクリート舗装部を解体撤去する。
- ③ ホルダー基礎杭についてはGL-1.5mまでを解体する。
- ④ 解体撤去終了後は転用土および購入土により解体前の現状地盤面まで埋め戻し整地を行う。

4) その他

- ① 外構フェンスおよび門扉については撤去しない。
- ② 構内の緑地の樹木・雑草については現状のままとし、伐採・除草工事はしない。また、ホルダー北側の隆起している箇所については現状のままとして整地は行わない。
- ③ 構内にある電柱などの東北電力所掌区分については撤去しない。

注)

- 1) 配置図の点線部は埋設部分を示す。

1) 建物について

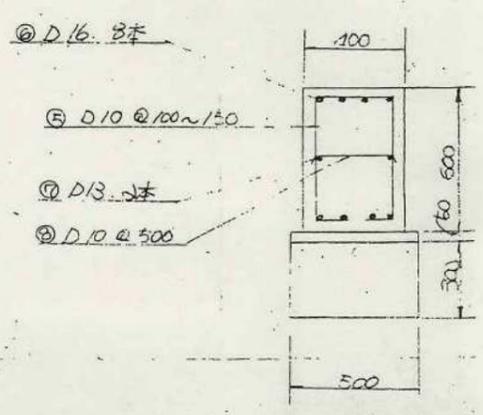
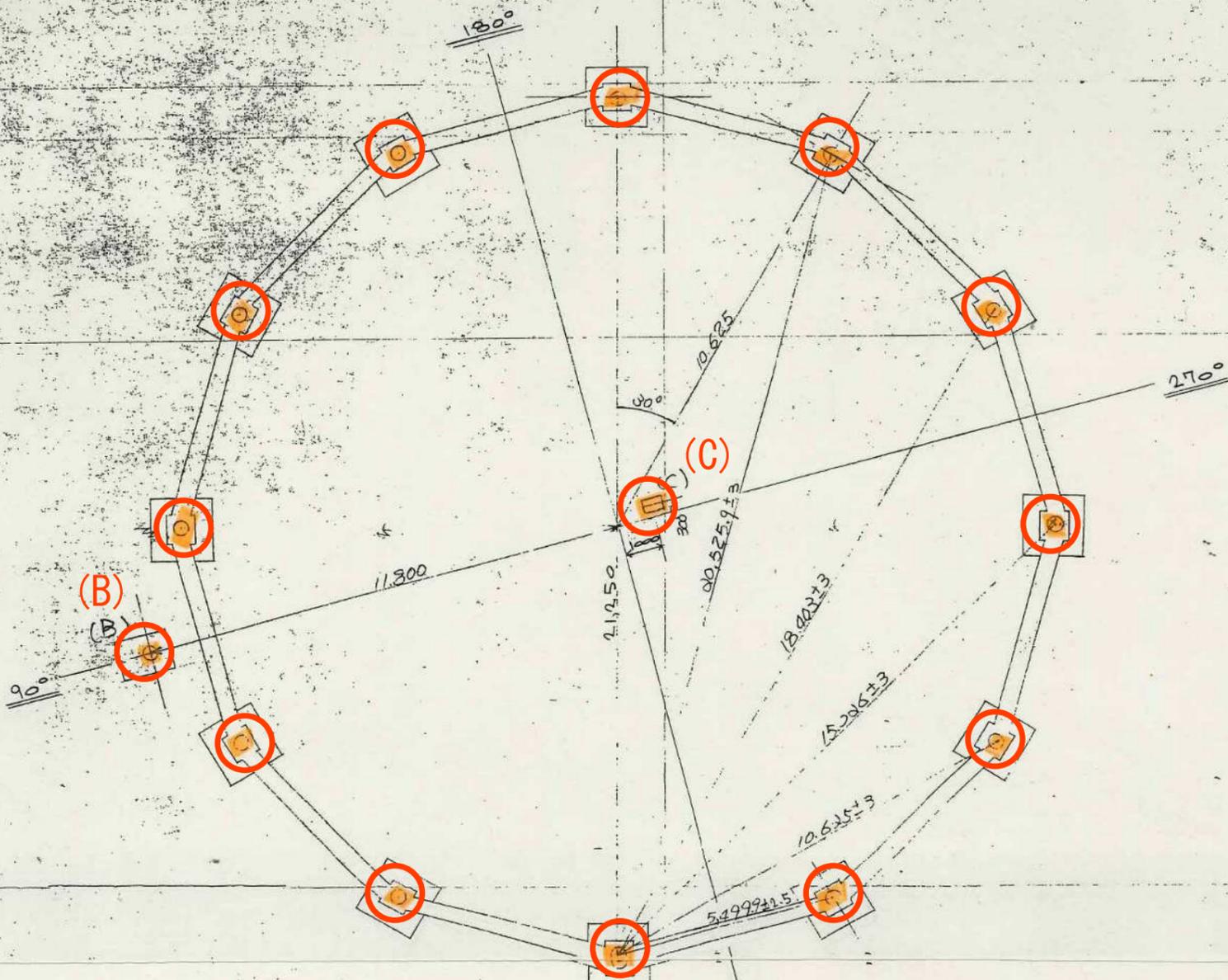
- ① 管理棟（玄関、計器室、配管室、付臭室、コンプレッサー室）建物本体を解体撤去する。
- ② 基礎については本体基礎部（床コンクリートを含む）及び付属設備基礎（コンプレッサー室基礎、ポンベ置場基礎）を解体撤去する。
- ③ 基礎杭についてはGL-1.5mまでを解体する。
- ④ 解体撤去部分は転用土および購入土により解体前の現状地盤面まで埋め戻し整地を行う。
- ⑤ 解体後の廃材は所定の手続きにより処分する。
- ⑥ 管理棟のアスベスト建材は解体時に適切に処理する。

以上

No. 3球形ガスホルダー (1/2)

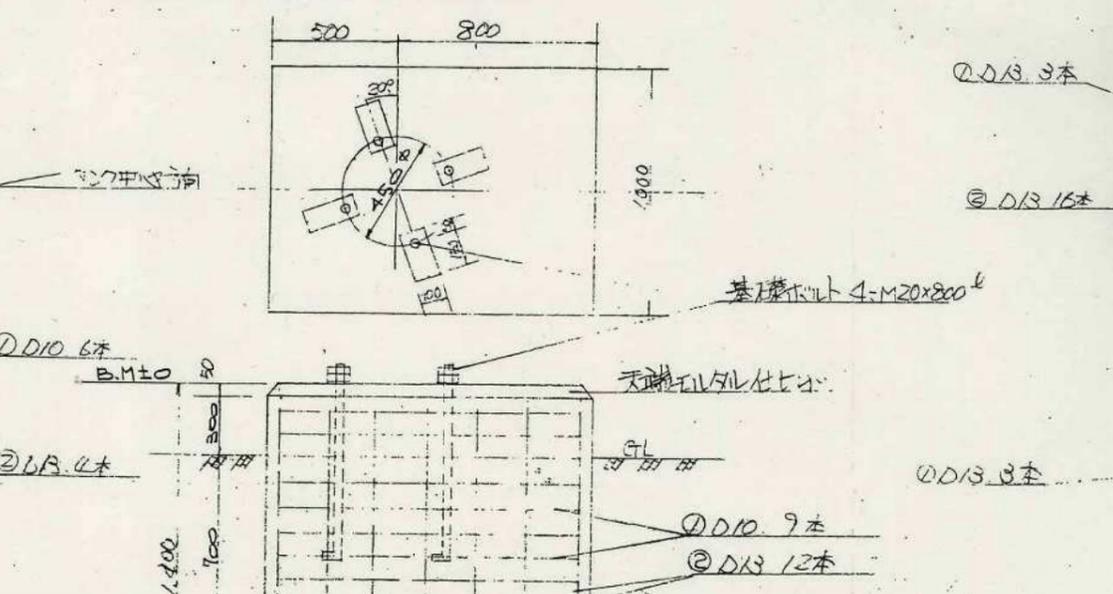
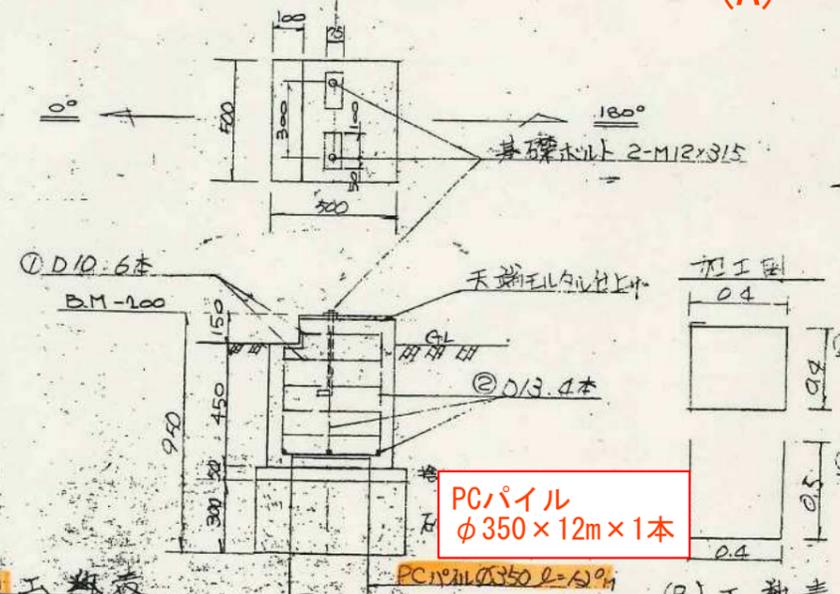
黒崎町球型ガス

タンク基礎配置図(1/100)



(C) 管台部基礎詳細図(1/50)

(B) 階段部基礎詳細図(1/50)

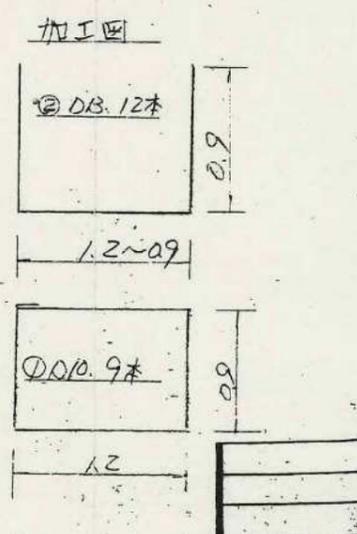


(A) 工数表

(B) 工数表

種目	計算式	数量	種目	計算式	数量
掘削 (円)	$\frac{(0.6^2 + 1.4^2)}{2} \times 0.85 \times 0.8$	0.84 ^{m³}	掘削 (円)	$\frac{1.3 \times 1.0 + 2.3 \times 2.6}{2} \times 1.1 \times 0.8$	4.04 ^{m³}
掘削 (長)	$\frac{(0.6^2 + 1.4^2)}{2} \times 0.85 \times 0.2$	0.21 ^{m³}	掘削 (長)	$\frac{1.3 \times 1.0 + 2.3 \times 2.6}{2} \times 1.1 \times 0.2$	0.87 ^{m³}
砂利層	0.84 + 0.21	1.05 ^{m³}	砂利層	4.04 + 0.8	4.84 ^{m³}
小石	0.84 + 0.21	1.05 ^{m³}	小石	4.04 + 0.8	4.84 ^{m³}
砂	0.6 × 0.6 × 0.05	0.20 ^{m³}	砂	1.5 × 1.0 × 0.05	0.14 ^{m³}
躯体IV	0.5 × 0.5 × 0.6	0.15 ^{m³}	躯体IV	1.3 × 1.0 × 1.0	1.3 ^{m³}
表面III	0.5 × 0.5	0.25 ^{m²}	表面III	1.3 × 1.0	1.3 ^{m²}
型枠	0.6 × 0.5 × 4	1.2 ^{m²}	型枠	1.3 × 1.0 × 4	5.2 ^{m²}
鉄筋		11.3kg	鉄筋		55.6kg
I-1 杭	M-12x315 ^φ	5本	I-1 杭	M-20x800 ^φ	4本
基礎杭	φ350 L=12m	1本	基礎杭	φ350 L=12m	1本

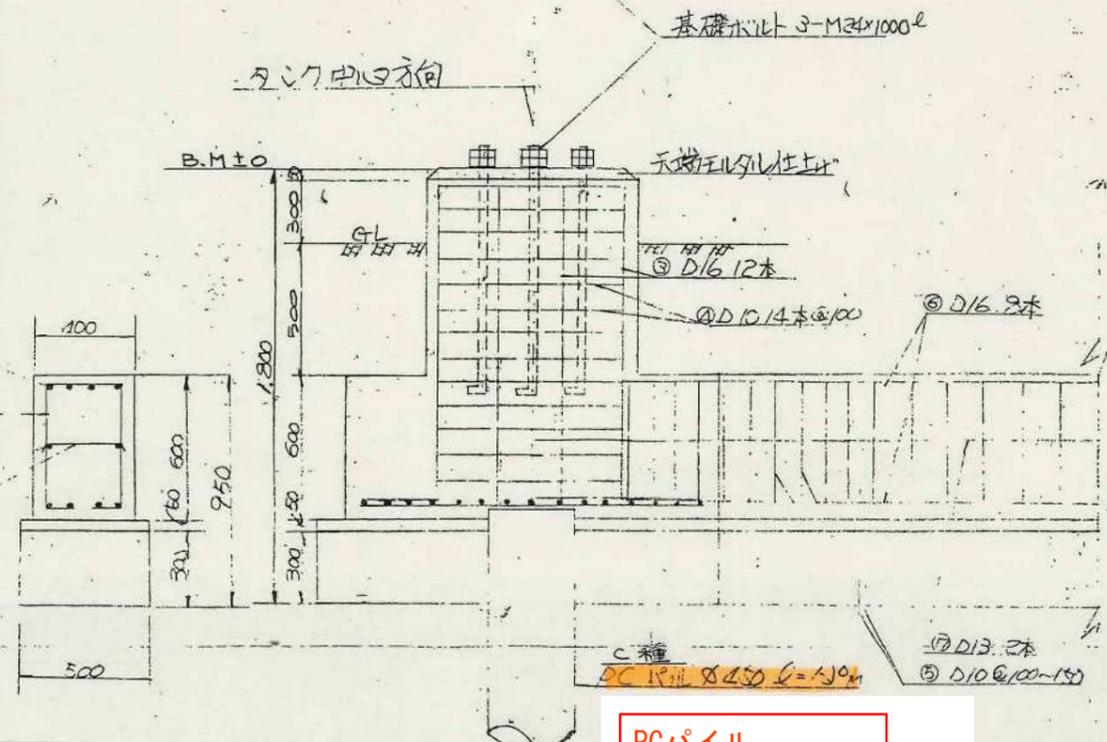
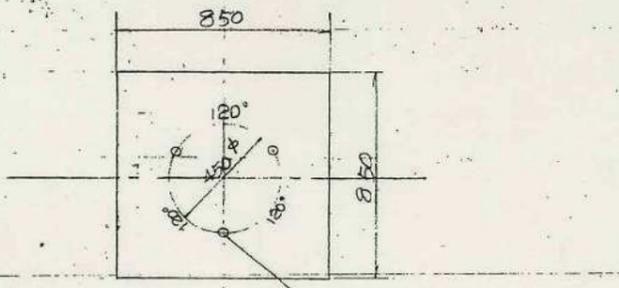
PCパイプ φ350 x 12m x 1本



球型ガスホルダー (基礎関係図面)

(A) (A) ホルダー基礎詳細図(1/2)

No. 3球形ガスホルダー (2/2)



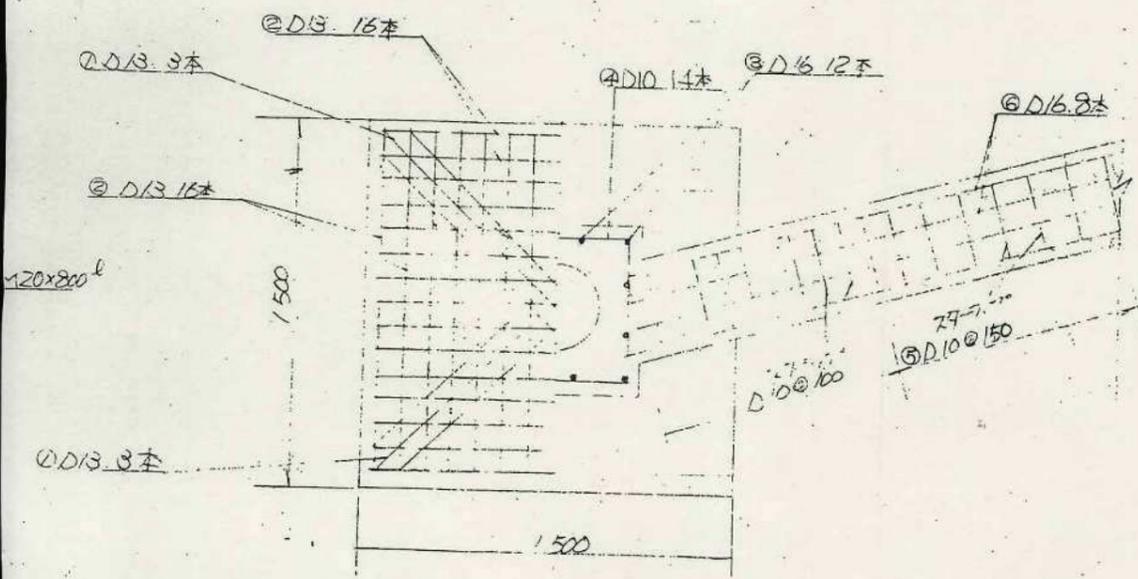
PCパイプ
φ450×12m×12本

(A) 工数表 (一基当り)

種目	計算式	数量
掘削 (機)	$(2.5 \times 2.5 \times 1.8 + 1.4 \times 1.8 \times 3.8) \times 0.8$	16.7 ^{m³}
掘削 (人)	$(2.5 \times 2.5 \times 1.8 + 1.4 \times 1.8 \times 3.8) \times 0.2$	4.15 ^{m³}
鉄工処理	$2.5 \times 2.5 \times 1.8 + 1.4 \times 1.8 \times 3.8$	20.85 ^{m²}
山砂	20.85-3.4	17.45 ^{m²}
捨コン	$(1.7 \times 1.7 + 0.5 \times 4) \times 0.05$	2.25 ^{m²}
躯体コン	$0.85 \times 0.85 \times 0.8 + 0.4 \times 0.6 \times 4 + 1.5 \times 1.5 \times 0.6$	2.9 ^{m³}
表面仕	0.85 × 0.85	0.70 ^{m²}
型枠	$1.5 \times 0.6 \times 4 + 0.8 \times 0.85 \times 4 + 0.6 \times 4 \times 2$	11.0 ^{m²}
鉄筋		230 ^{kg}
丁金材	M24 × 1,000 ²	30本
PCパイプ	C種	12本

(A) 鉄筋大工図

D/B	寸法	本数	長さ	数量
①	20	6 × 2	10.994	13.2
②	15	30 × 15	10.994	44.8
③	16	12 × 16	1.55	31.7
④	10	14 × 3.1	0.557	24.3
⑤	10	40 × 16	2.559	35.8
⑥	16	8 × 55	1.55	53.2
⑦	13	8 × 5.5	2.194	17.0
⑧	10	18 × 8.2	3.559	27.1
合計				230.2

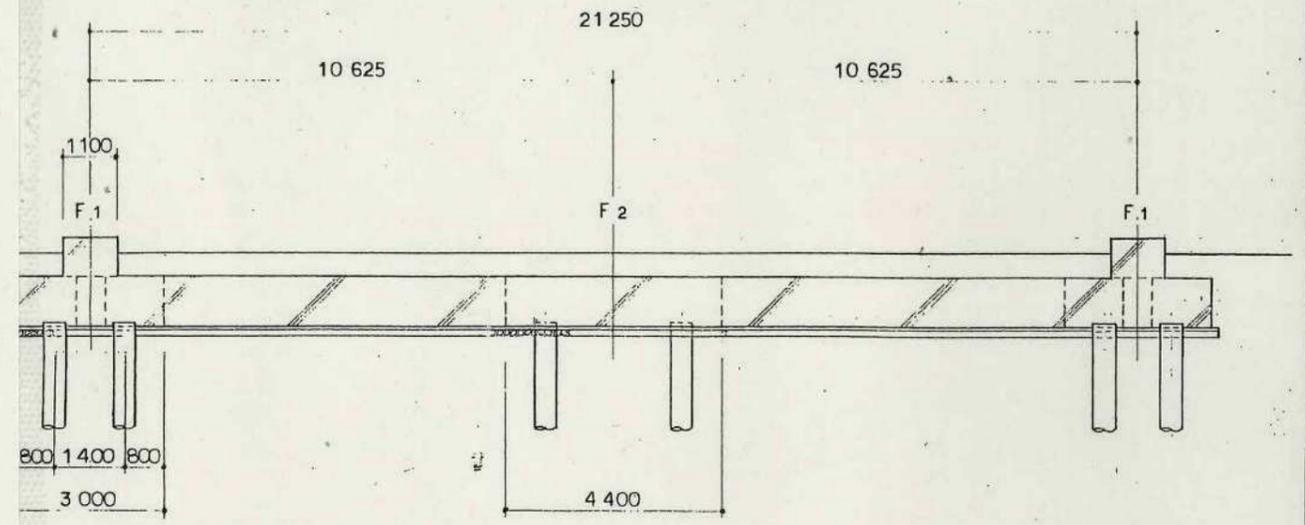
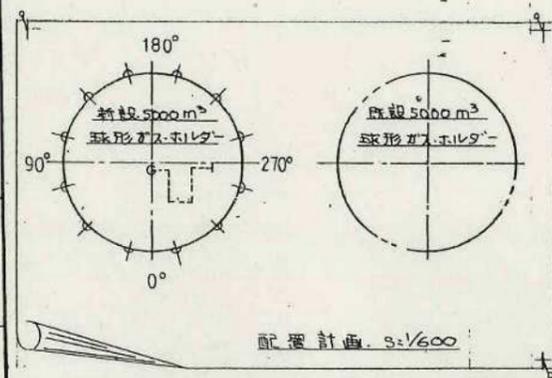
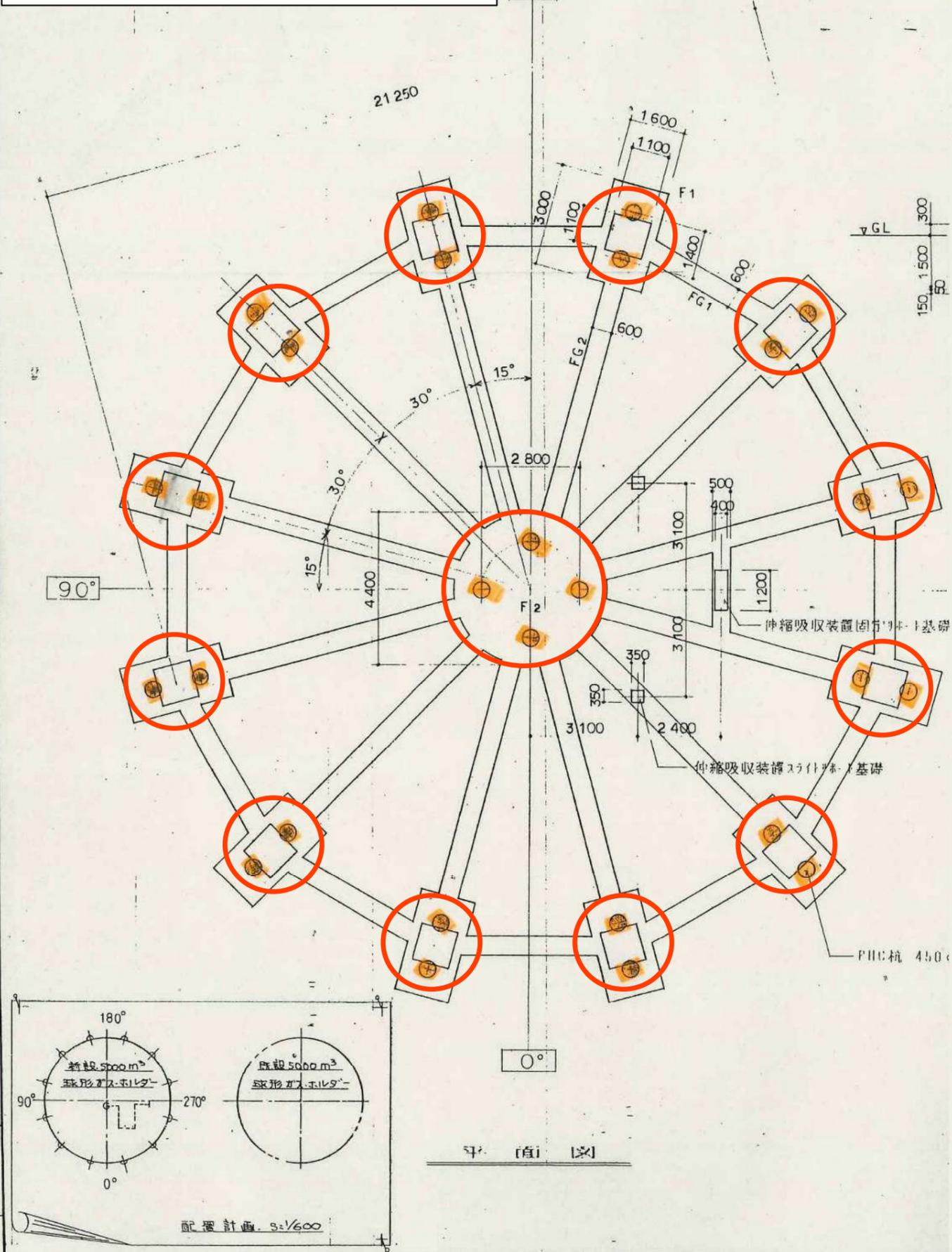


黒崎供給所分室
3号球形ホルダー(1/1)

ITEM NO.	DESCRIPTION	MAT'L	REQ. NO.	REMARK
	基礎図			
	5000 黒崎都市ガス球形ホルダー			
	新潟県黒崎町第二供給所			
B-T	6025-100-31			

TITLE	基礎基礎 (G.L. → B.M) 変更	DW'G NO.	3	1/1	M.O.
-------	----------------------	----------	---	-----	------

No. 4球形ガスホルダー (1/1)



断面図

PHC杭 450φ × 18m × 28本

材料表	
1	コンクリート 設計基準強度 $F_c = 21.0 \text{ kg/cm}^2$
2	鉄筋 SD295 (加工組立@日本建築学会鉄筋1号カ-1造配筋指針JIS)
3	杭 PHC杭 450φ × 18M (上杭B種, 下杭A種) - 28本 長期 40t/p 短期 80t/p 回転30度入根固め工法

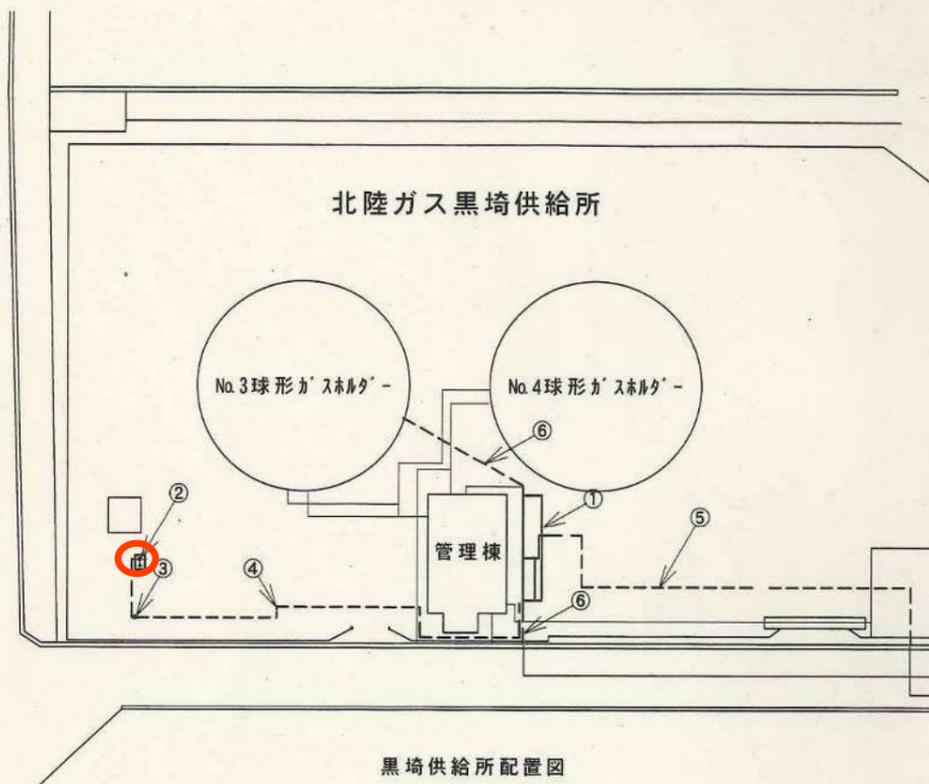
品番		品名		材質	個数	重量	備考
No.	DESCRIPTION	MATERIAL	REQD No.	WEIGHT	REMARKS		
製作数 No. SET		FOR 黒埼供所分室 4号球形ホルダー新設工事					
検図 CHECKED	H.T. 15.12.24	TITLE 5000m³ × 5.0 kgf/cm²-G 球形ガスホルダー					
製図 DRAWN		基礎一般図					
設計 DESIGNED	M.K.	JOB. NO.					
縮尺 SCALE	1/100	DWG. No. 11					

REV.	NOTE	DATE	DRAWN	CHKD

電気防食施設 (1/2)

北陸ガス黒崎供給所 (旧第2供給所) 施設撤去仕様書

平成18年 3月27日

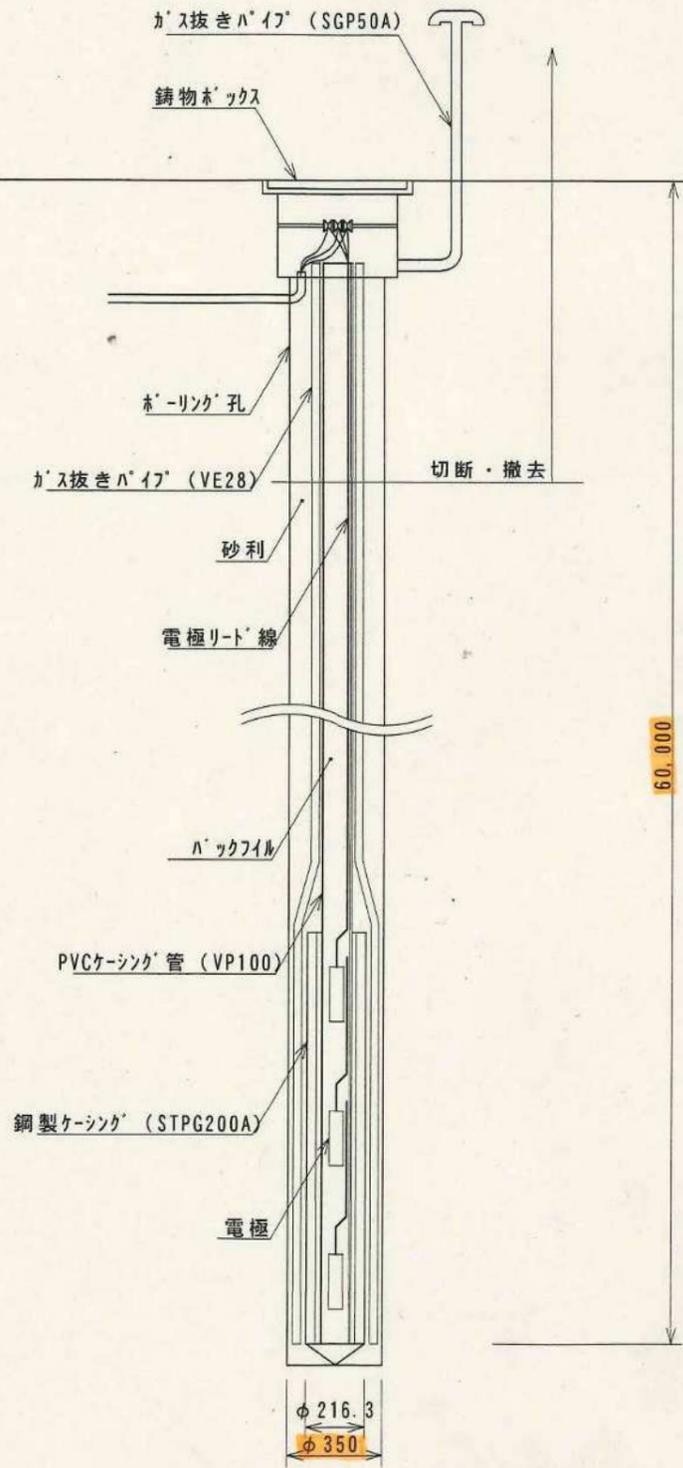


- ① 都市ガス供給施設
地上部配管設備は北陸ガス(株)との責任分界点より、解体撤去処分する。
管理棟内の機械設備、電気計装設備を撤去処分する。
- ② 天然ガス供給パイプライン電気防食施設
別紙、廃坑処置図のとおり地下1.5mで切断し、上部設備を撤去する。
切断箇所は、鉄板溶接し、コンクリートで栓をした後埋戻しする。(在置)
- ③ 電柱
電線及び電源装置を撤去し、電柱も引き抜き撤去する。
- ④ φ22mm埋設ケーブル
掘削しケーブルを撤去する。
- ⑤ φ100mm埋設ガス管
掘削し配管撤去する。
- ⑥ φ150mm埋設ガス管
掘削し配管撤去する。

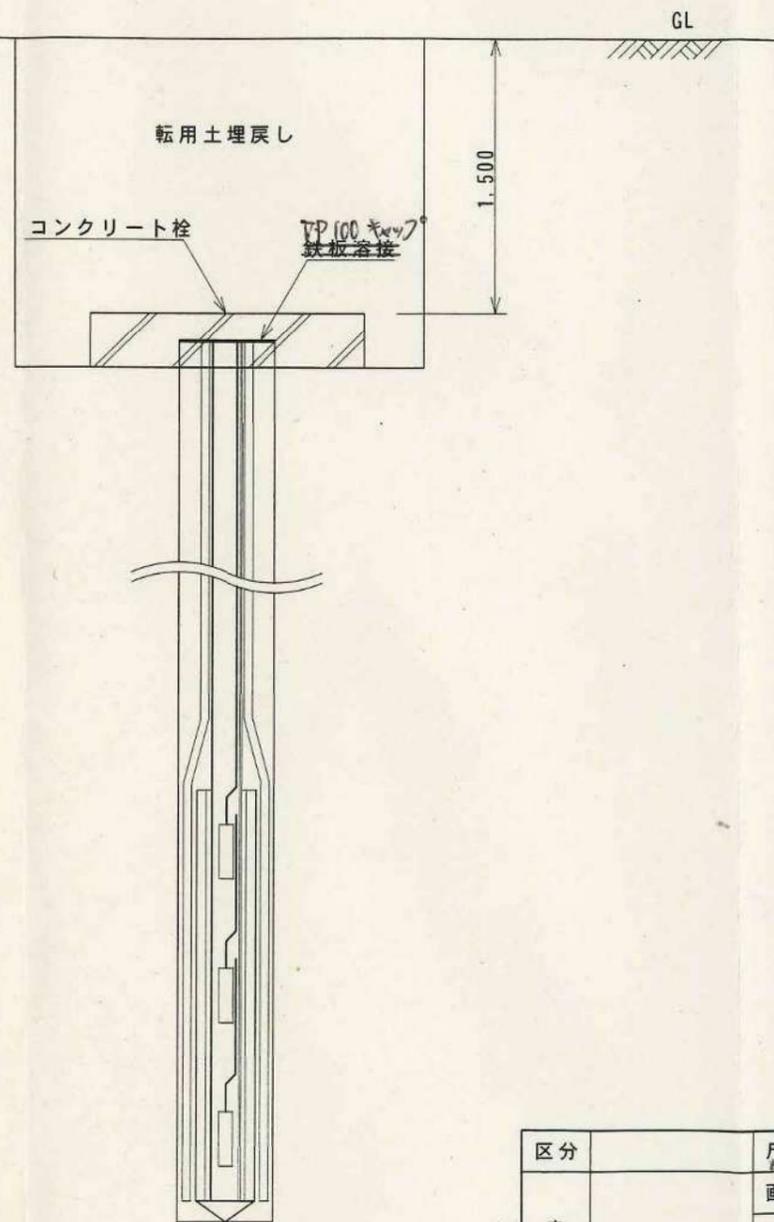
※解体撤去部分は転用土及び購入土により解体前の現状地盤面まで埋め戻し整地を行う。

電気防食施設 (2/2)

既設電防井状況



廃坑処置



区分	尺度	承認	検図	製図	写図
来歴	画法				
	図面名称	北陸ガス(株)黒埼供給所内 電防井廃坑工事概要図			
作成年月日	類別				
類別番号					
図面番号					